

話題沸騰

# 大会などの記念品に 「蓄光・お助けシール」は いかがですか？



手話通訳・要約筆記用



聴覚障がい者用

災害が発生したときに問題になるのは聴覚障がい者を探すことです。また、避難所に行っても手話通訳者や要約筆記者を探すことは容易ではありません。外見からでは分からないためです。

東日本大震災で死亡した聴覚障がい者は17人（全日本ろうあ連盟発表）。津波が来たことが分からず、近所の人に手を引っ張られて逃げた人もいました。

自分から聞こえないことを伝えなければ支援は受けられません。恥ずかしいと抵抗を感じる人もいますが、命が助かりたいなら識別させるしか方法はないと思います。「自分の身は自分で守る、他の人は頼れない」という自覚が必要です。

4年以内にマグネチュード7以上の直下地震がおきる可能性は70%以上です。（内閣府発表）

大会などの記念品として「蓄光・お助けシール」を申請してみませんか。

議会、行政、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際ソロプチミストなどに知り合いがいれば提案してみてもいかがでしょうか。50万円はないが、5万円はある。ちりも積もれば山となる。知恵を絞ってトライしてみませんか。NPO-BCSはみんながハッピーになれる方法をご提案いたします。

以下の主なマスコミに紹介されています。（詳しくはホームページ→「蓄光・お助けシール」）

- ・2012年3月13日、毎日新聞「聴覚障害者「お助けシール」…問合せ271件」
- ・2012年3月11日、NHK「ろうを生きる、難聴を生きる」防災・減災のために、紹介
- ・2012年3月4日、京都新聞「聞こえない」こと伝える蛍光シール
- ・2012年2月7日、読売新聞「津波の到来分らず…聴覚障害者、周知シールを作成」

詳細は当Webサイトに掲載しています。 <http://www.bcs33.com/>

bcs33

検索

〒164-0014 中野区南台2-51-7-707号 NPO法人ベターコミュニケーション研究会（NPO-BCS）  
TEL/FAX:03-3380-3324 E-mail:equal@bcs33.com

「力のある人は力を、知恵のある人は知恵を、お金のある人は寄付を」

